

東京工業大學本館新營工事

東京工業大學復興部

所在地・東京市目黒區大岡山

建築面積・地階4,411.850平米、1階6,589.760平米、2階5,890.210平米、3階6,413.760平米、4階742.220平米、塔屋128.625平米。

合計(總延) 24,126.425平米、即ち7,298.244坪。

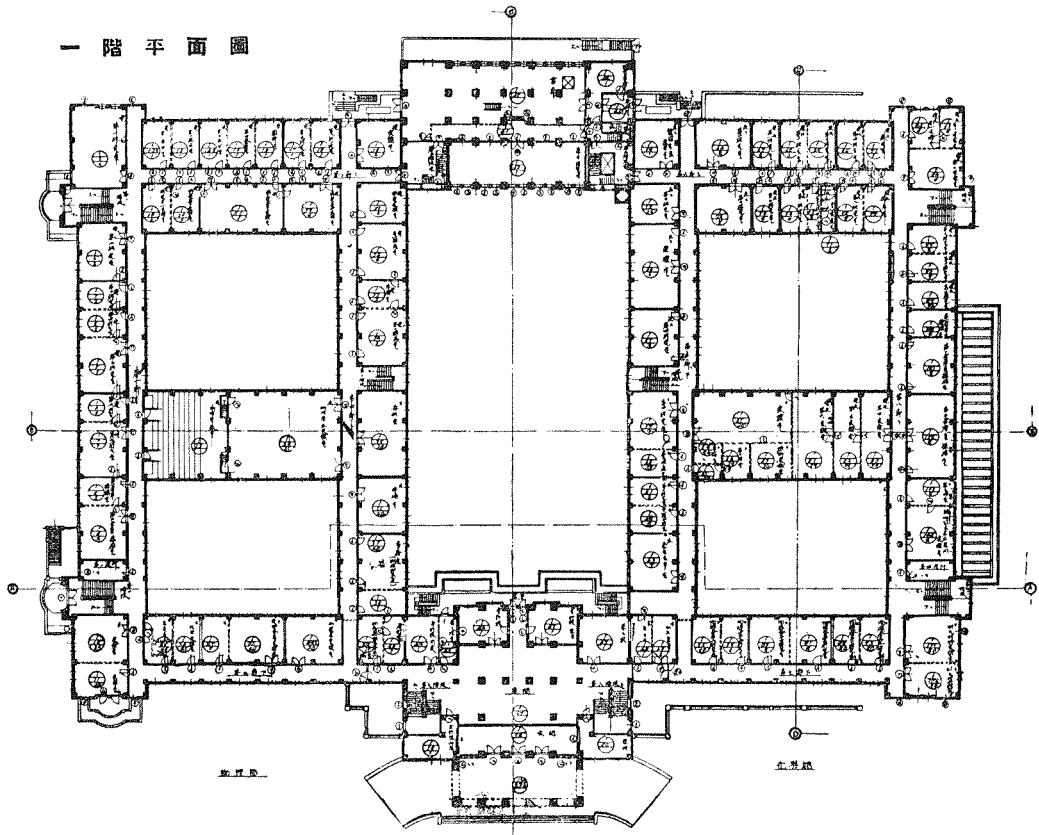
高さ・一般の個所は14米73、塔屋39米73。

構造・鐵筋コンクリート基礎、主體鐵骨鐵筋コンクリート造。

外装・腰部は人造板石貼、壁面は長手タイル貼、コーニス彫刻擬石。

内装・天井は主としてタイガーボード張の上カセイン塗仕上。壁は漆喰又はプaster塗、腰は廊下廻りがプasterの上にカセ

一階平面圖



イン塗仕上、室内は木製腰羽目付又はプラスチック塗。廣間及玄關廻りはタイル貼。床は廊下がクリンカータイル貼、玄關及廣間廻りはタイル貼、其他の室は主として木造床板張りである。

附帯設備・給水——玉川水道の供給を受け主管径8時に依り受水槽に引込みタービンポンプを以て壓力水槽に送り各階に給水する。

衛生——便所を何れも水洗式とし汚水は建物の西北方低地に設けた淨化槽に流入處理せられ、雑水と共に最寄の呑川に放流。

電氣設備——電灯、實驗用アウトレット、動力、電氣時計、電話、電鈴、火災報知機

等を設備した。

暖房——は眞空式低壓蒸氣暖房である。

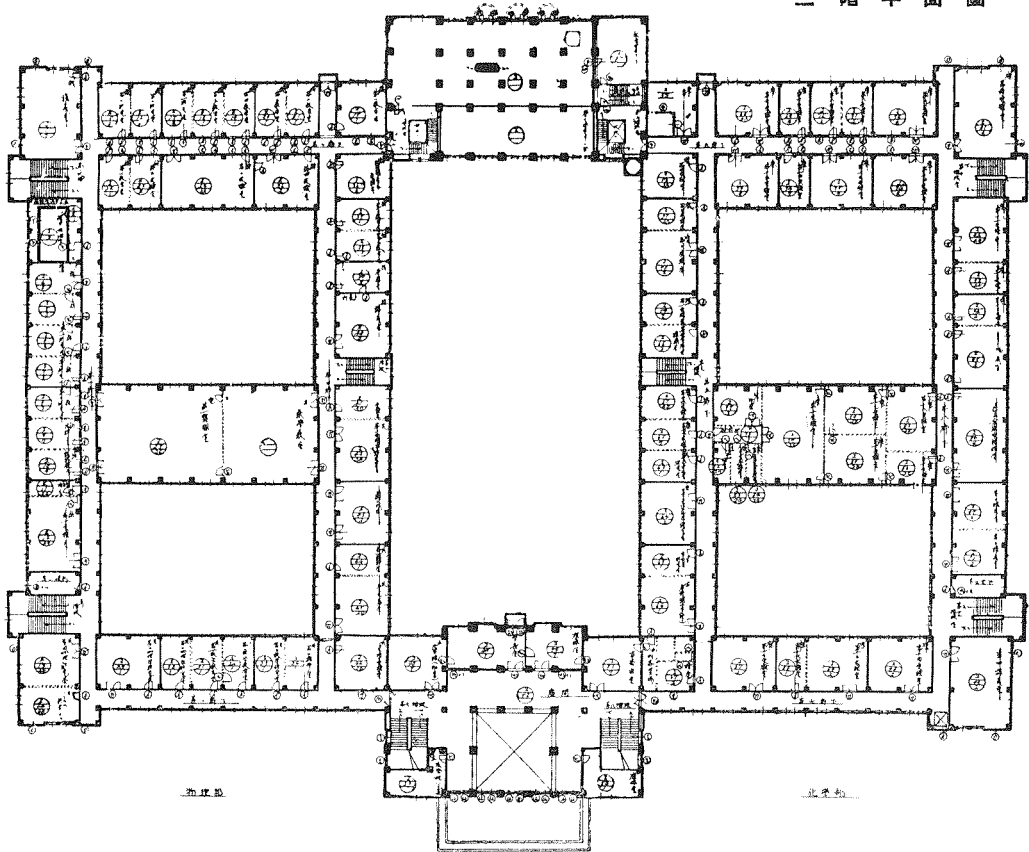
瓦斯——東京瓦斯株式會社の供給を受け、主管径6時に依り引込み各階に供給する。

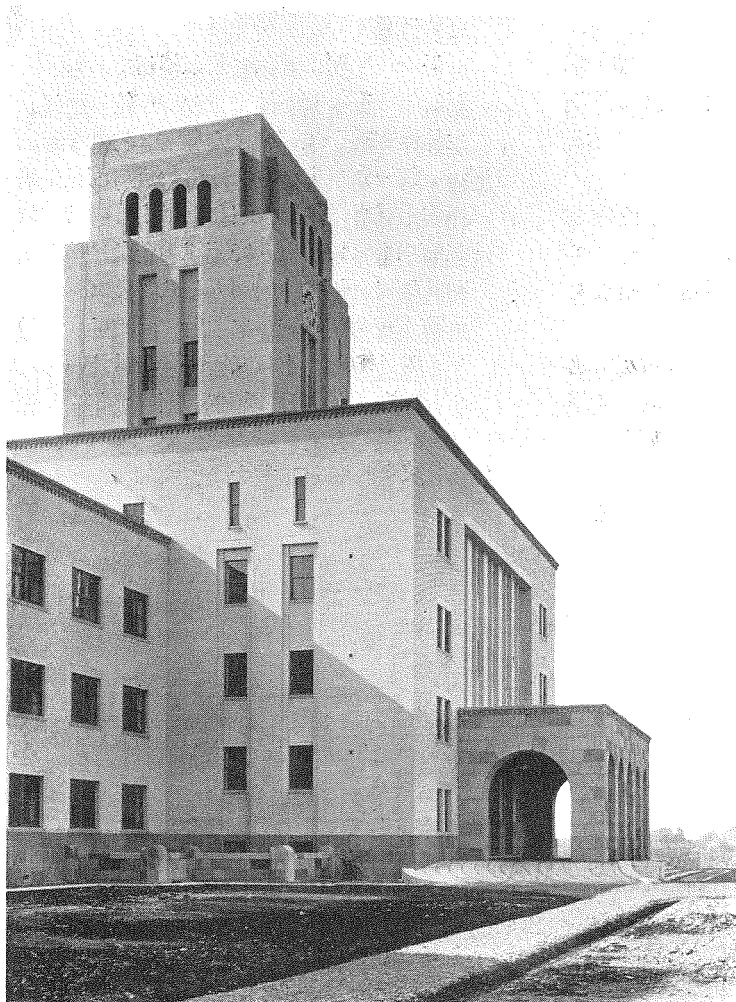
工程・第一期工事の主體は清水組の請負で昭和六年三月に起工、昭和七年十月竣功、第二期工事たる仕上は安藤組の請負に依り昭和八年三月起工、昭和九年八月竣功した。附帯工事は西原衛生工業所、弘電社、三機工業株式會社、東京瓦斯株式會社等の手により昭和八年六月に起工、昭和九年十月完く工を竣つた。

設計及監督・東京工業大學復興部。

以上

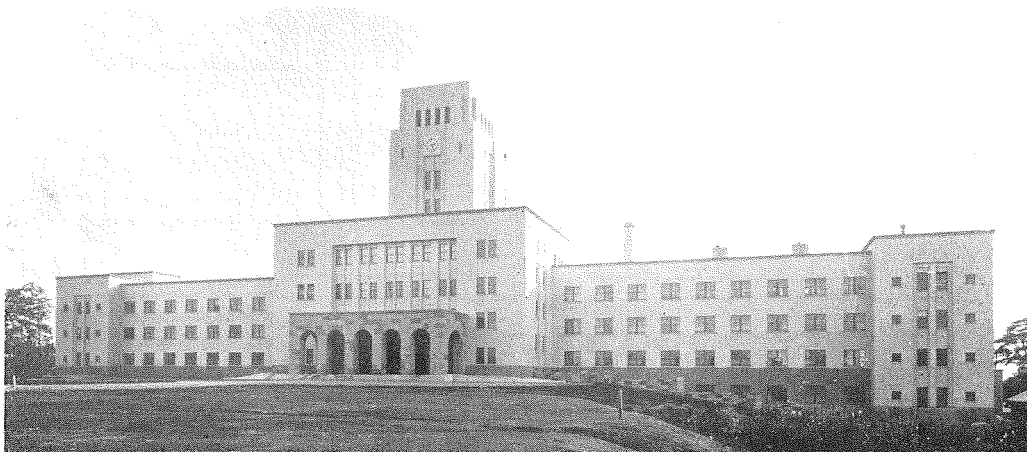
三階平面圖





東京工業大學
本館

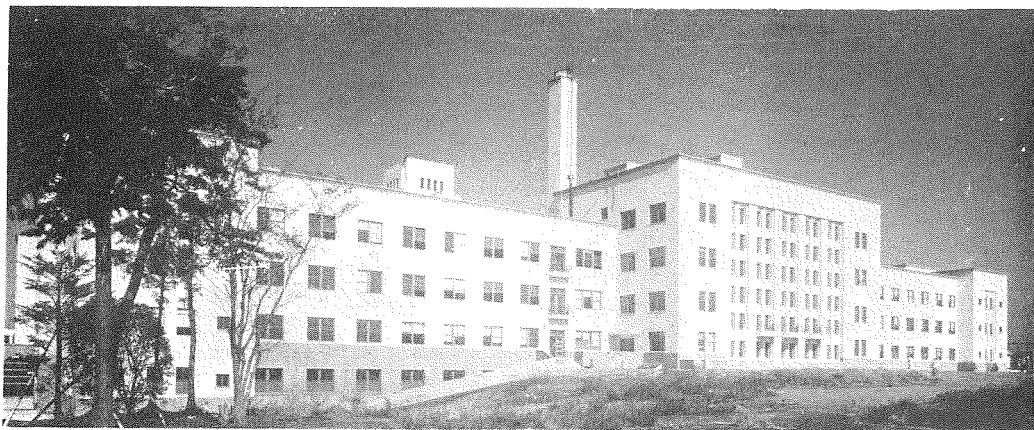
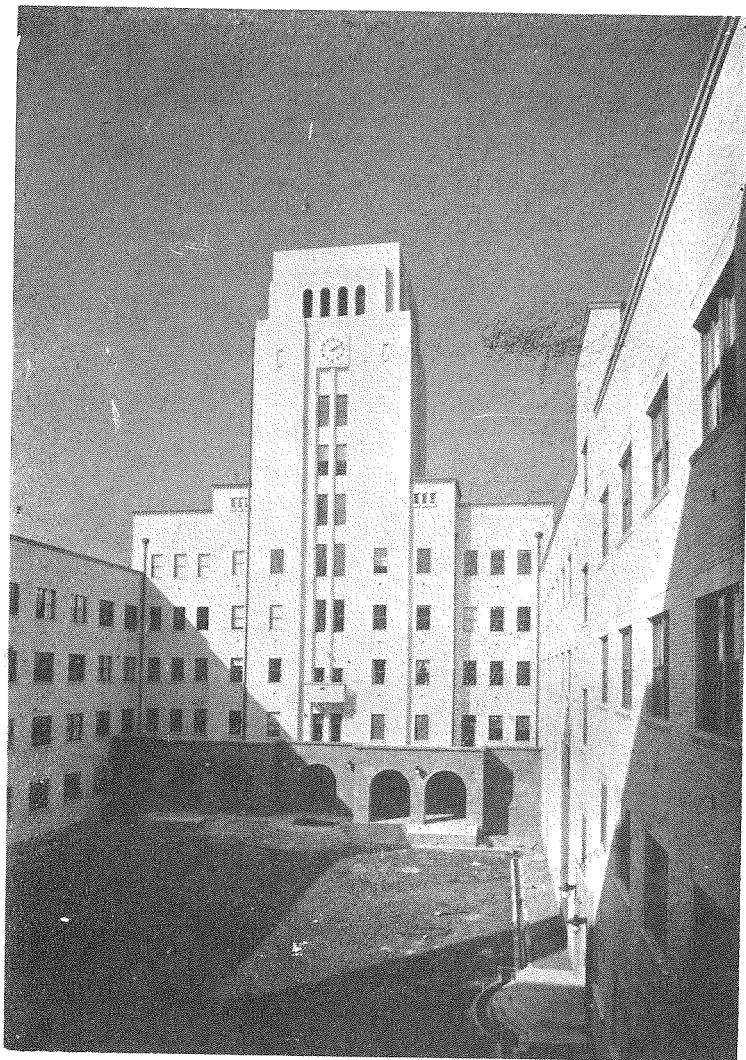
- (1) 東北より見たる本館全部。
- (2) 西北より見たる本館全景。明朗な白系統の近代的建築。

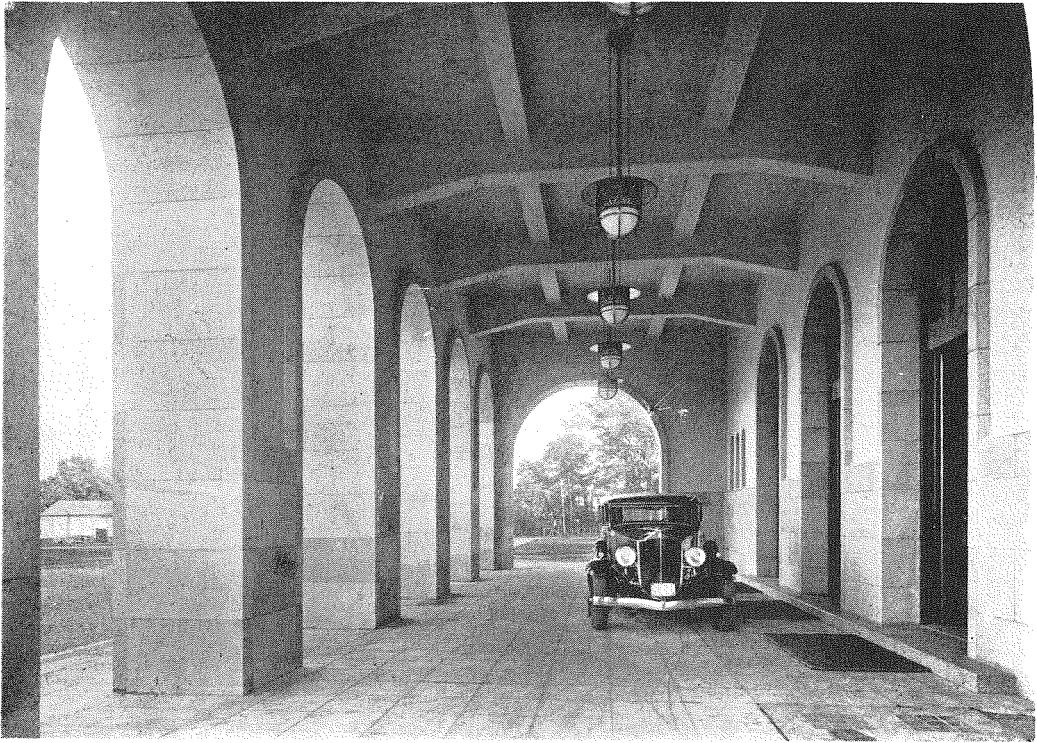


東京工業大學

本館

- (3) 中庭の南より見たる塔。塔は豫算の關係上階段とギャラリーを設け、床は桁のみを架しスラブなし。將來床版を張る豫定。
- (4) 西南より見たる本館裏面。中央は圖書館で前面の塔と對稱をなす。



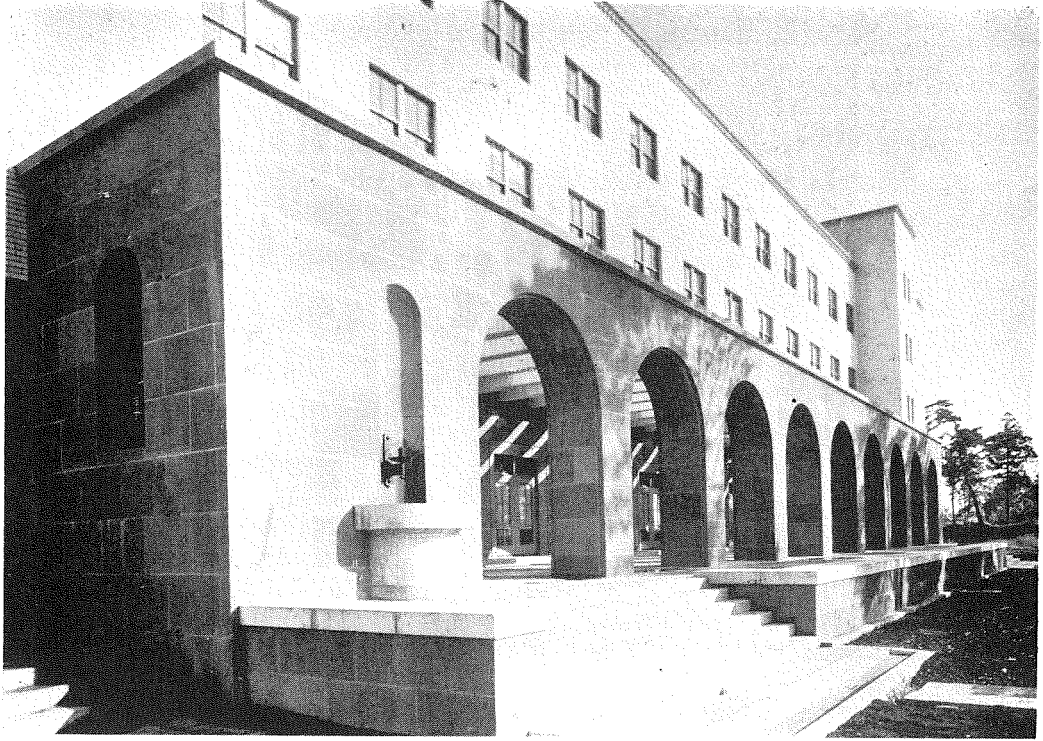


東京工業大學
本館



(5) 上は正面玄関
の内部。

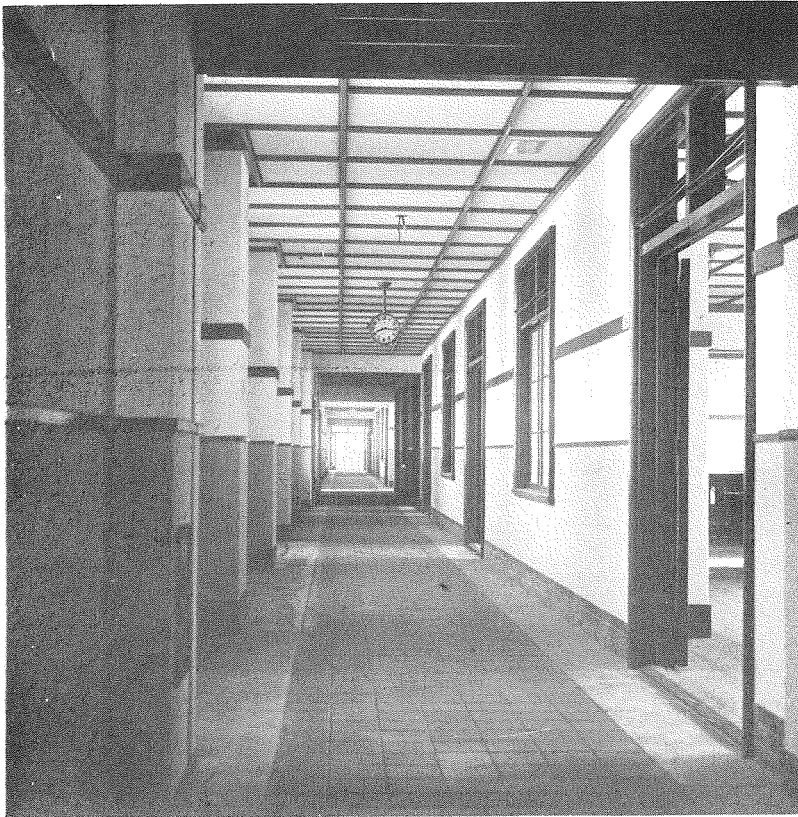
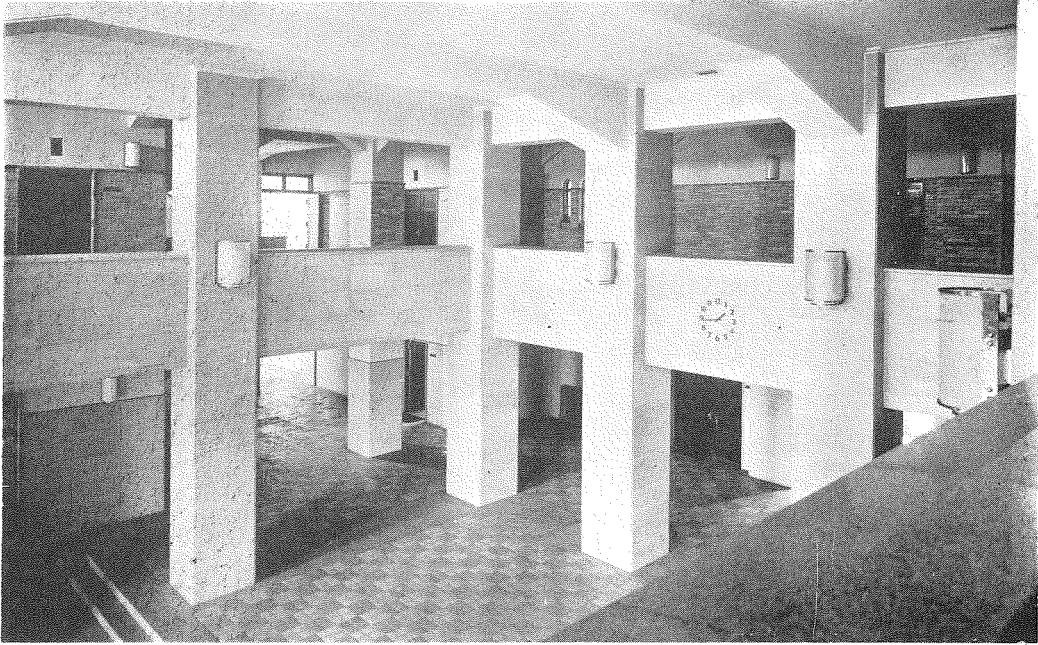
(6) 玄関内部ホー
ル入口正面。



東京工業大學
本館



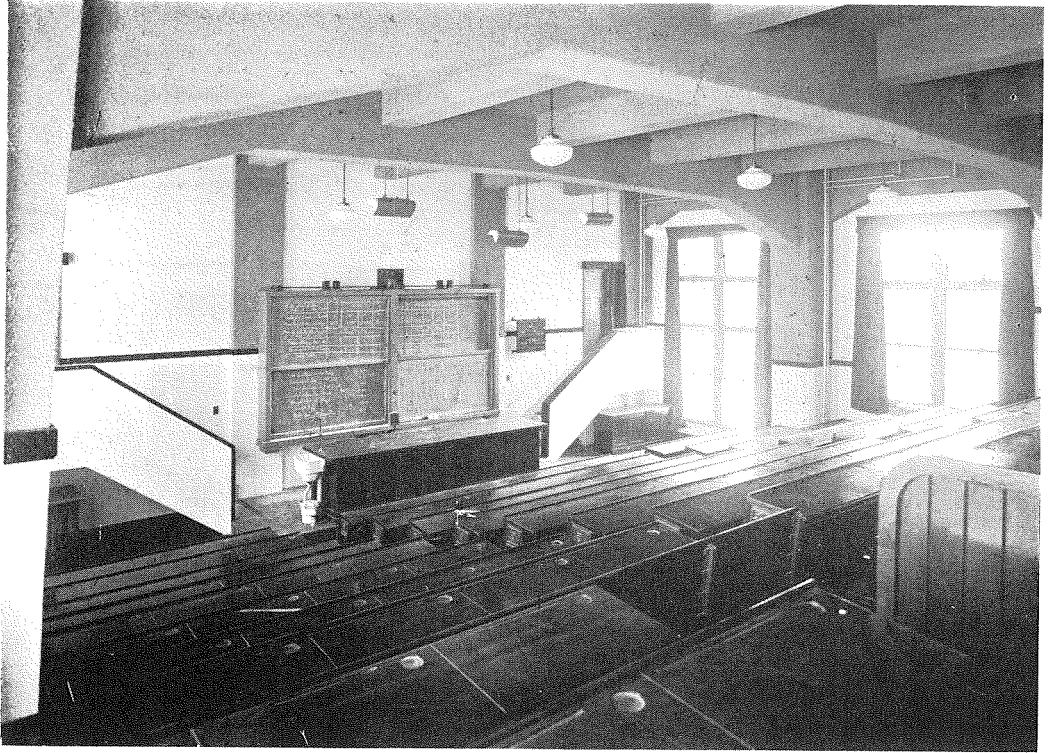
- (7) 本館西北面食堂前のパーゴラ。
- (8) 同上パーゴラ内部。



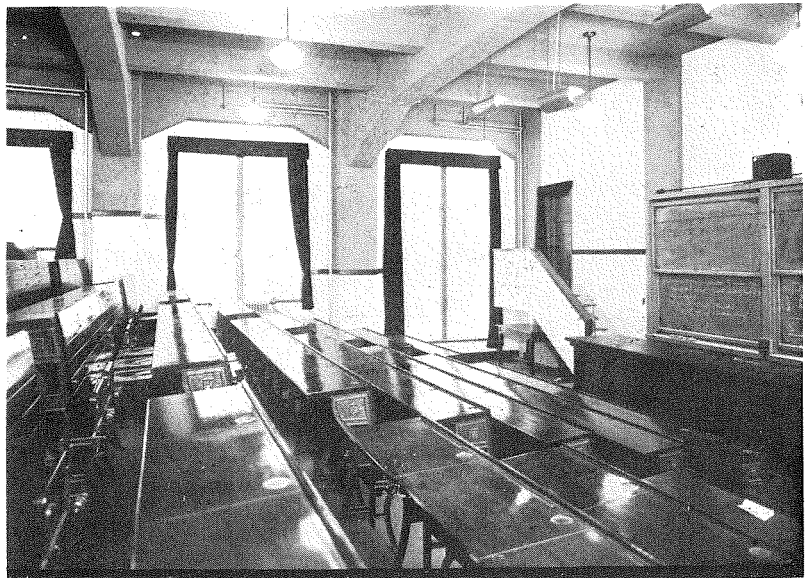
東京工業大學
本館

(9) 本館正面ホ
ール内部。

(10) 本館廊下の
一部。

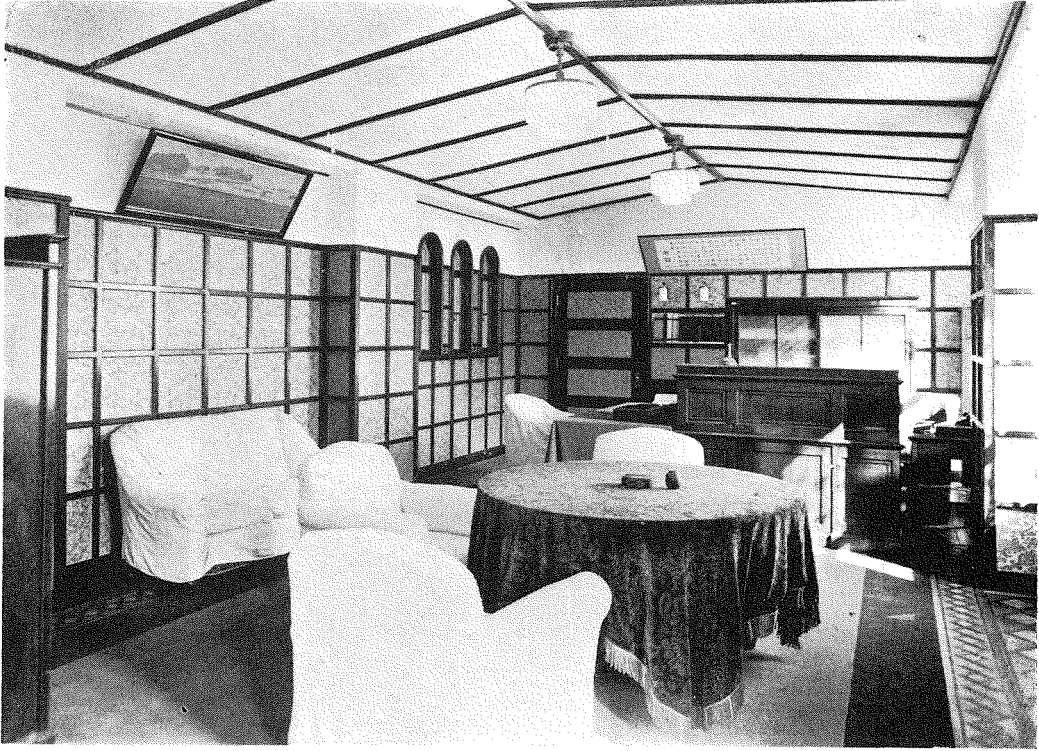


東京工業大學
本館

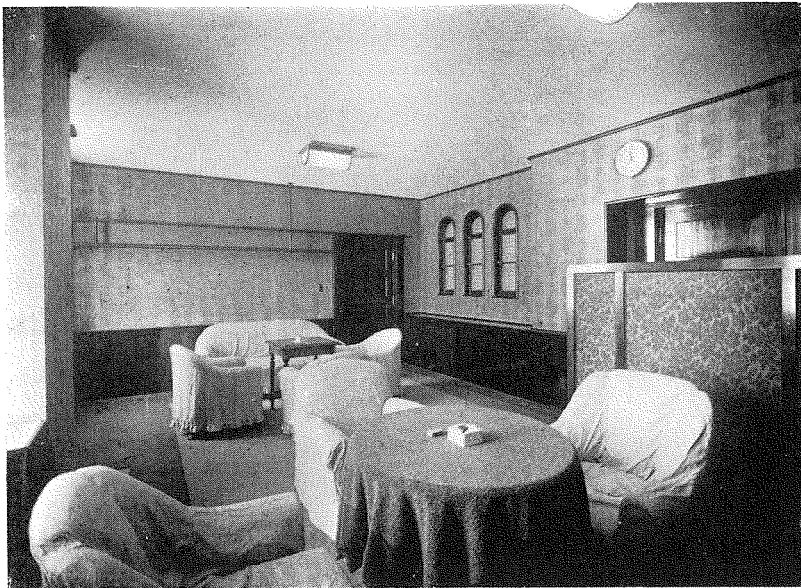


(11) 上は階段教室。

(12) 一般教室。



東京工業大學
本館



(13) 學長室。

(4) 第一應接室。



東京工業大學
本館

(15) 職員食堂。

(16) 會議室。

